

- ・緑の保全事業として、地域の貴重な緑を守るため「保存樹木」を指定し、啓発のため国産木材を使用した標識を設置した。
- ・公園で記念植樹を行い、国産木材を利用した銘板を設置した。

□ 事業内容

緑の保全事業

都市化の進展により、貴重な緑が減少しつつあることから、市内に残る貴重な緑地や樹木を保存し、またそれを表示する標識を設置。

【事業費】484千円（うち譲与税484千円）

【実績】木製標識 2基



（保存樹木標識）

植樹祭事業

公園開設30周年に伴う記念植樹を行い、国産木材を使用した記念銘板を設置。

【事業費】55千円（うち譲与税55千円）

【実績】木製銘板 1基



（記念植樹）

□ 工夫・留意した点

- ・木材を利用することにより木材利用の普及啓発に努めた。
- ・「森林環境譲与税」を活用している旨の説明を表示。

（裏面）

この看板は、『森林環境税』を活用して作成しています。



◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：42,805千円	②私有林人工林面積（※1）：0 ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より